

CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

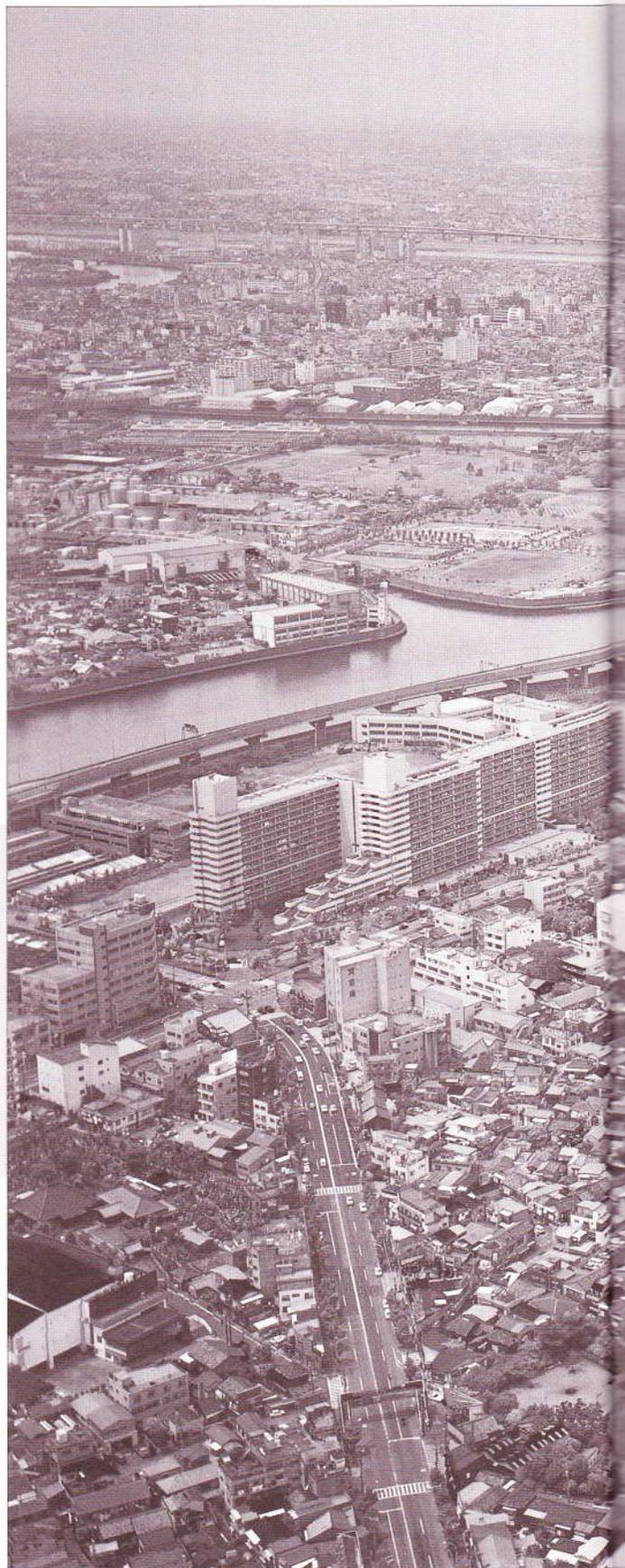
1988・夏号

Vol. 11



特集
都市と防火

都市は災害に対して、
組織的・構造的な対策をもつ必要がある。
都市そのものの中に防災が組み込まれることによって、
はじめて都市として機能する。
今回は都市における防災のあり方を、
〈火〉という視点から眺めてみた。
江戸にあったは華とまてうたわれた火事。
その火災と対峙することによって、
はじめて日本の都市は近代都市への道を歩みはじめた。



C I T Y & L I F E

C O N T E N T S

特集◎都市と防火

- ② 最近の防災計画／日端康雄
- ⑥ 火災都市——江戸／鈴木理生
- ⑫ 近代都市の不燃化への歩み／入澤恒
- ⑬ 〈鼎談〉人類の居住史と火事の歴史を考える
／伊藤滋・樺山紘一・徳田敦司
- ⑲ 江戸火消の歴史／池上彰彦
- ⑳ と組・新門の辰五郎／杉林仁一
- ⑳ 東京消防庁の現状／石田公也
- ㉓ 高度情報化社会における防火・防災対策／梶秀樹
- ㉔ 東京のウォーターフロントの構想さまざま／武基雄
- ㉕ バックナンバーの紹介／編集後記